

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	折井
	全体計画	平成22年度 ~			経費区分	実施計画事業費		内線	3514			
事務事業名	7343 地籍調査事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022000 土地の有効利用の促進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080102 土木費・土木管理費・地籍調査費										
	事業	010000 地籍調査事業										
事業目的						事業概要・効果						
土地の基礎情報である「地籍」を明らかにし、正確な土地情報を残すため、不明確な公図及び登記簿の内容を是正する。						<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査とは、不明確な公図及び登記簿の内容を是正するため、一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び面積に関する測量を行う事業。調査の成果である「地籍簿」をもとに登記簿が書き改められ「地籍図」が不動産登記法第14条第1項の地図として法務局に備え付けられる。 ・事業の効果は「土地境界に係るトラブル防止」「災害復旧の迅速化」「課税の適正化」などがあげられる。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
日滝3区 (0.13km ²) ・日滝5区 (0.11km ²) ・日滝6区 (0.08km ²) 県へ認証請求 日滝7区 (0.09km ²) E・F I ・F II-1工程実施～同認証者検査 日滝1区 (0.13km ²) 地籍図・地籍簿を法務局へ備付	日滝2区 (0.17km ²) 県へ認証請求 日滝7区 (0.09km ²) F II-2・G・H工程実施～同認証者検査 日滝4区 (0.17km ²) 地籍図及び地籍簿を法務局へ備付
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
日滝7区 (0.09km ²) 県へ認証請求 日滝8区 (0.08km ²) E・F I ・F II-1工程実施～同認証者検査 日滝5区 (0.11km ²) ・日滝6区 (0.08km ²) の地籍図・地籍簿を法務局へ備付	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	地籍調査完了面積					単位	ha
算式						単位	ha
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	25	19				
	実績	17					
指標選定の理由	事業成果である「地籍図及び地籍簿」の法務局備え付け完了をもって、1区域の調査完了ととらえる						
最終年度目標の根拠	日滝9区までの事業成果を法務局へ備え付ける						
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		6,219	10,339
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,298	5,475
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,921	4,864
人員数(人)	正規職員	1.2	1.6
	会計年度(フル)	0.9	0.9
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	8,533.2	11,377.6
	会計年度(フル)	2,965.5	2,965.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	11,498.7	14,343.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.5
総額		17,717.7	24,682.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	198	事務用及び作業用消耗品費151、燃料費47
12節 委託費	3,053	地籍調査業務委託料2,453、地籍調査システム保守点検委託料600
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	26	長野県国土調査推進協議会負担金26
その他	2,942	会計年度任用職員報酬1,934、期末手当319、共済費354、公用車リース84ほか

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	476	事務用及び作業用消耗品費395、燃料費61、修繕料20
12節 委託費	6,514	地籍調査業務委託料6,200、地籍調査システム保守点検委託料等314
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	35	長野県国土調査推進協議会負担金35
その他	3,314	会計年度任用職員報酬1,996、期末手当407、共済費404、公用車リース85ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地籍事業は「災害復旧」「課税の適正化」「土地取引の円滑化」など、国でも積極的に推進している必要な事業ではあるが、事業の特性上、完了までに時間と労力を要するため、必要性を感じることは難しい状況となっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	事業の成果である「地籍図」「地籍簿」を法務局にある程度備え付けられれば、窓口受付の境界立会の省略化や簡素化など、事業の効果を実感できると思われるが、そこまで達するには長期間の年数を要する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国費による都市部官民境界基本調査の測量事業を活用し経費を削減しているが、ここ数年、他事業とセットで地籍調査を行わないと予算が付かない傾向にあり、国補助金の財源確保は年々難しい状況になっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

懸案事項となっていた日滝2区について、県に認証請求書を提出することができた。
 また登記についても日滝4区について法務局へ地籍図・地籍簿を備え付けることができた。
 調査自体は日滝7区の後半工程を実施し、同認証者検査まで完了した。
 調査終了区域は早期に県に認証請求書を提出し、登記についても県の認証が下りた地区から順次法務局と相談して手続きを進めていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地籍調査は、多大な時間労力を要するが、土地に係る経済をスムーズかつ経済的に行うため 重要な事業である。</p>		<p>地籍調査は「土地境界に係るトラブル防止」「災害復旧の迅速化」など市民にとって利益のある事業であるが、県内でも事業進捗が低いことから事業推進スピードを上げる必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	神林久雄
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 実施計画事業費 <input type="checkbox"/> 内線	3522
事務事業名	4913 調査・計画策定事業	
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課	
施 策	05022000 土地の有効利用の促進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費
	事業	030000 調査・計画策定事業
事業目的		事業概要・効果
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第六次総合計画に盛り込まれた『安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち』を推進するため、調査、計画策定を行う。		都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保される。 【ヒア補足】 ●立地適正化計画策定は、市民課要求の公共交通計画策定と一体的に行う必要があること、自然災害の多発に伴い防災指針の策定の必要性から1年前倒しで行う。 ●都市計画基礎調査の増額は国の要領変更による。 ●区域区分・用途地域の見直しはインター開発エリアの市街化区域編入、伝建の動きとも連動する。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上福島地区）の決定 3. 都市計画道路の見直し	1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上九反田地区）の決定 3. 都市計画道路の見直し
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 立地適正化計画の作成 3. 都市計画道路の見直し 4. 都市計画基礎調査の実施	1. インター周辺開発の推進 2. 立地適正化計画の作成 3. 区域区分・用途地域の見直し
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 区域区分・用途地域の見直し 3. 都市計画基本図修正	1. 区域区分・用途地域の見直し

指標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算式						単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	1	1	1	1	1	
	実績	2					
指標選定の理由	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
最終年度目標の根拠	都市計画の見直し状況に合わせた都市計画審議会にて決定、変更、廃止をおこなった審議議案の累計件数						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		857	15,223
特定財源	国庫支出金	0	3,179
	都道府県支出金	0	1,999
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		857	10,045
人員数(人)	正規職員	1.4	1.6
	会計年度(フル)	0.3	1.0
	会計年度(パート)	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	9,955.4	11,377.6
	会計年度(フル)	988.5	3,295.0
	会計年度(パート)	0.0	154.1
	計	10,943.9	14,826.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.6
総額		11,800.9	30,049.7

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	855	都市計画変更等業務委託料855
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2	普通旅費2

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	15,036	都市計画変更等業務委託料1,000 立地適正化計画作成委託料6,358、都市計画基礎調査委託料7,678
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	187	通信運搬費（郵便料）45 IC周辺開発に伴う関係機関協議のための旅費142

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	須坂市の土地利用や交通計画など市の課題解決につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効果を追求する事業ではないが、生産性の向上につながる計画の立案や土地利用の在り方に努めていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須坂市都市計画マスタープランに沿った土地利用を進めるため、インター周辺開発の促進に向けて取組みを進めている。R3年度は、ものづくり二次用地の開発に向けて井上・九反田地区地区計画の決定（須坂市決定）を行った。引き続き、関係機関と官民の連携を図り、開発行為の許可および造成完了と立地企業の早期の操業開始に向けて取組む。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>都市計画マスタープランに沿った拠点の整備を進めるため、インター周辺地区開発では計画通りに造成工事を進め、建築工事に着手できるよう引続き官民が連携をして取組む必要がある。</p>		<p>都市計画マスタープランに沿ってインター周辺地区をはじめとする秩序ある開発をすることが重要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	眞島、森井
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4136 生活雑排水対策事業											
所 属	121000 市民環境部・生活環境課											
施 策	05022100 安定的な上下水道の運営											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費										
	事業	020000 生活雑排水対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
公共下水道に接続する世帯数の増加と、未接続世帯の排水について河川等の水質維持を図るため、生活排水の適正な処理を行う。						生活排水(し尿を除く)脱水処理、運搬、堆肥化处理業務を業者に委託し適正に処理する。 河川の水質維持のため、個人設置型の浄化槽に対する設置費用の補助を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
浄化槽設置補助件数 2件 生活排水汚泥処理量(中間処理) 169,440ℓ	浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理量(中間処理) 159,710ℓ
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量(中間処理) 172,000ℓ	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		2,070	2,693
特定財源	国庫支出金	110	138
	都道府県支出金	0	138
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,960	2,417
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,844.4	2,844.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,914.4	5,537.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,063	中間処理1,968、運搬24、最終処分71
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	7	県浄化槽推進協議会負担金7
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,238	中間処理2,119、運搬31、最終処分88
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	455	県浄化槽推進協議会負担金41、小型合併処理浄化槽設置補助金414
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	一般家庭から排出される雑排水が河川の水質汚濁の原因となっていることから、河川等の水質維持を図るため生活雑排水の適正処理を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	公共下水道等に未接続の一般家庭から排出され、河川の水質汚濁の原因となる生活雑排水について、処理業務を事業者へ委託して適正な処理を行った。（脱水、運搬、堆肥化まで近隣市町村と合同処理）	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	公共下水道等に未接続の一般家庭から排出され、河川の水質汚濁の原因となる生活雑排水について、処理業務を事業者へ委託して適正な処理を行った。（脱水、運搬、堆肥化まで近隣市町村と合同処理）	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 生活雑排水の污泥処理（脱水処理、運搬、堆肥化処理）業務を事業者へ委託し適正に処理した。 公共下水道区域外について、合併処理浄化槽設置事業補助金の申請は無かった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

生活排水の適正な処理に必要不可欠である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

生活雑排水対策は環境行政において必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	眞島、森井
全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3254
事務事業名	14626 小規模水道施設維持管理事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	05022100 安定的な上下水道の運営										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040301 衛生費・水道費・水道費									
	事業	010000 小規模水道施設維持管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給する。						峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給するために、適切な維持管理を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努めた。	区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努めた。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努める。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		3,476	3,837
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	937	1,857
一般財源	2,539	1,980	
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.6
人員コスト	正規職員	6,399.9	6,399.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	462.3	924.6
	計	6,862.2	7,324.5
市民一人当たりの経費	0.2	0.2	
総額	10,338.2	11,161.5	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,655	消耗品費97、燃料費18、電気料1147、修繕料393
12節 委託費	971	施設管理委託料649、水質検査委託料322
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	水道局負担金(分水の水道料、ニツ双水源ポンプ電気料)
その他	850	郵便料24、電話料109、手数料10、システム使用料(残塩計)261、備品購入費446

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,218	消耗品費90、燃料費28、電気料1,300、修繕料800
12節 委託費	1,195	施設管理委託料832、水質検査委託料330、量水器取付委託料33
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	424	郵便料35、通信料110、手数料13、システム使用料（残塩計）262、保険料4

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	区域内住民への安定給水の維持確保を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	区域内住民への安定給水の維持確保を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 辺地対策事業債を活用。 水道施設設備の更新に際し、配水池の容量やポンプの大きさを使用現況に応じた規格に縮小するなど、適正規模の施設設備になっている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市役所から遠距離に位置する水道施設を維持管理するため、クラウドによる遠方監視システムを導入し、給水残留塩素濃度、井戸や配水池の水位、ポンプ運転状況などを職場のパソコンや職員スマホで毎日監視している。

区域内住民への安定給水の維持確保を図るため、トラブル発生時は休日関係なく対応している。職員の待遇改善を検討したい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
起債償還後に須坂市水道と統合し、一括管理することによりコスト削減を図るよう準備を進める必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
須坂市水道への統合・一括管理に向けて準備を進めたい。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	植木
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3517
事務事業名	5289 排水機場維持管理事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	060000 排水機場維持管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
雨・台風等の豪雨から住民の生命財産を守るための排水機場を維持管理することで安全に暮らせる住環境を提供する。						雨・台風等の豪雨から地域を冠水から守るため、災害時に備えていつでも稼働できる様に管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。 福島北排水機場C点検 福島北排水機場遊水池浚渫工事 中島排水機場F点検	日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。 福島排水機場冷却槽取替工事 福島・中島排水機場配管修繕工事 相之島・中島電装修繕工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。 福島排水機場F点検 福島排水機場真空ポンプ整備工事 中島排水機場冷却減圧槽更新工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		25,638	21,750
特定財源	国庫支出金	626	282
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		25,012	21,468
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,844.4	2,844.4
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		28,482.4	24,594.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	22,630	消耗品費28、燃料費748、光熱水費2,486、修繕料19,368
12節 委託費	1,779	保守点検委託料1,778
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,229	通信費600、手数料595、使用料34

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	19,300	消耗品費28、燃料費1,105、光熱水費2,977、修繕料15,190
12節 委託費	1,153	施設管理業務委託1,153
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,297	通信費635、手数料621、使用料41

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	災害時に備えて稼働できる様に維持管理することで、安全に暮らせる住環境が提供できる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	各機場の修繕等は緊急性、必要性を考慮し優先順位に改善	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	土地改良施設の改修については、土地改良施設維持感知適正化事業を有効活用し、コスト縮減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）
排水機場の維持管理、改修工事が予定どおり順調に進んでいる

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
被害を軽減するため重要な事業である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
千曲川の増水時に被害を軽減するため重要な事業である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	植木浩司
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3517
事務事業名	14015 排水機場整備事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	070000 排水機場整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
雨・台風等の豪雨から住民の生命財産を守るための排水機場を更新整備することで安全に暮らせる住環境を提供する。						雨・台風等の豪雨から地域を冠水から守るため、災害時に備えていつでも稼働できる様に整備を行う。 【ヒア補足】 ●昨年度の5ヵ年実施計画でR6に予定していた中島排水機場原動機分解整備は実施を行わない。 ●中島樋門改修については、現状手動での開閉を行う樋門を自動化するもの。現地に行かずに開閉作業が可能となる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
福島排水機場2号機エンジン分解整備 福島北排水機場更新設備実施計画書作成業務	福島北排水機場更新整備実施計画作成業務委託 福島排水機場2号機エンジン分解整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
福島排水機場3号機エンジン分解整備	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		41,962	15,739
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	26,120	0
	地方債	0	0
	その他	11,880	11,880
一般財源		3,962	3,859
人員数(人)	正規職員	0.1	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	2,844.4
市民一人当たりの経費		0.8	0.4
総額		42,673.1	18,583.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	26,718	測量設計委託26,718
14節 工事請負費	12,705	工事請負費12,705
18節 負担金補助及び交付金	2,539	土地改良施設維持管理適正化事業費2,539
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	495	測量設計委託費495
14節 工事請負費	12,705	土地改良施設維持管理適正化事業原動機整備分解工事12,705
18節 負担金補助及び交付金	2,539	土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金第43期792、第44期792、第45期792、適正化事業割163
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	災害時に備えて稼働できる様に更新整備を行うことで、安全に暮らせる住環境が提供できる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	各機場の更新整備は緊急性、必要性を考慮し最優先に改善	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	排水機場の更新等については、県営農村地域防災減災事業を活用しコスト削減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

排水機場更新の改修事業は、予定通り順調に進んでいる

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

水害の被害軽減のため、整備は重要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

千曲川の増水時に被害を軽減するため重要な事業である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塚田・鈴木・岸本
		全体計画						経費区分		-		内線	3531・3516
事務事業名	4207 道路橋梁管理事業												
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課												
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	080201 土木費・道路橋梁費・道路橋梁総務費											
	事業	020000 道路橋梁管理事業											
事業目的							事業概要・効果						
都市の基本的施設である道路、橋梁を的確に管理することは、安全で快適な市民生活を提供するうえで必須の条件である。							未登記処理について、予算の範囲内で努める						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
測量登記委託料 5,000,000円 道路台帳補正委託料 5,000,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,300,000円 用地購入費 200,000円	測量登記委託料 5,000,000円 道路台帳補正委託料 6,500,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,300,000円 用地購入費 200,000円
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
測量登記委託料 5,000,000円 道路台帳補正委託料 7,500,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,300,000円 用地購入費 200,000円	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		20,037	22,889
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17	10
一般財源		20,020	22,879
人員数(人)	正規職員	4.9	4.9
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	34,843.9	34,843.9
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	35,173.4	35,173.4
市民一人当たりの経費		1.1	1.1
総額		55,210.4	58,062.4

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,728	光熱水費2,849、燃料費342、消耗品費513、修繕費24
12節 委託費	11,936	測量図作成委託料4,203、道路台帳補正委託料等6,446、法定外公共物システム補正業務委託1,287
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,373	報酬等1,981、旅費4、保険料1,000、手数料405、通信費70、使用料100、自動車重量税61

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,299	光熱水費3,417、燃料費359、消耗品493、修繕費30
12節 委託費	13,800	測量図作成委託料5,000 道路台帳補正委託料等7,500、法定外公共物システム補正業務委託1,300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,790	報酬等2,916、旅費9、保険料979、手数料427、通信運搬費75、使用料160、用地購入費200、自動車重量税24

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	必要である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	適切な事業内容となっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	特になし	

振り返り（決算年度の取組み課題）
特になし

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

適切に実施する必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

道路・橋梁等の適切な維持管理に必要な事業である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>				担当者 鈴木・塚田 全体計画 経費区分 ー 内線 3516・3531
事務事業名	4209 道路管理事業				
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課				
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進				
予算 科目	会計	01 一般会計			
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費			
	事業	010000 道路管理事業			
事業目的			事業概要・効果		
道路法に定める道路管理者として、安全に配慮した維持管理を目指す。			道路、側溝等の道路施設の維持補修管理を適切に行い、市民理解のもと施設の長寿命化を図りながら道路環境整備と緑化事業を協働で進めて行く。		

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
道路環境の整備	道路環境の整備
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
道路環境の整備	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		7,746	30,765
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	8,021
一般財源		7,746	22,744
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,688.8	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,688.8	5,688.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.7
総額		13,434.8	36,453.8

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,532	消耗品費452、燃料費607、修繕料等473
12節 委託費	5,325	堤防除草等委託料869、剪定委託料2,975、剪定枝資源化委託料9、除草委託1,472
14節 工事請負費	263	道路側溝浚渫工事88、街路樹伐採工事175
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	626	保険料75、手数料420、自動車重量税117、使用料14

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,460	消耗品費495、燃料費765、修繕料1,200
12節 委託費	9,479	堤防除草等委託料889、剪定委託料3,000、剪定枝資源化委託料80、土砂処理委託料100、除草委託料2,000、転石撤去委託料3,410
14節 工事請負費	9,000	道路側溝浚渫工事500、舗装工事1,000、街路樹伐採工事1,200、駅西口ロータリー整備工事6,300
18節 負担金補助及び交付金	26	有料道路時間帯割引回数券販売負担金26
その他	9,800	報酬等2,759、保険料137、旅費27、手数料1,451、自動車重量税211、使用料15、備品購入費5,200

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	街路樹の剪定、除草作業等を計画的に行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市民からの苦情をできる限り少なくするため、道路パトロールを行い早めの対応をしていきたい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

道路等含めた施設管理は必要な事業である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

施設の長寿命化を図るため、適切は維持管理修繕が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	村石
	全体計画			経費区分	-	内線	3516
事務事業名	4210 除雪事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費					
	事業	020000 除雪事業					
事業目的				事業概要・効果			
冬季における道路交通の確保を図り、市民生活と市内の産業・経済活動の安定に寄与するため、迅速かつ適切な除雪作業行う。				市内のバス路線・幹線道路の除雪を実施し、交通路線の安全確保、市民生活の安定と地域産業の振興に寄与する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。	除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		65,162	82,270
特定財源	国庫支出金	282	2,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	25,000
	その他	1,900	2,300
一般財源		62,980	52,970
人員数(人)	正規職員	0.7	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.3
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,977.7	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	988.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,977.7	6,677.3
市民一人当たりの経費		1.3	1.7
総額		70,139.7	88,947.3

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9,337	消耗品費7,508、燃料費286、修繕料等1,543
12節 委託費	45,985	除雪委託料39,527、凍結防止剤散布車運転6,458
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	9,840	役務費6,219、備品購入費1,954、機器賃借料1,489、公課費178

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11,896	消耗品費9,600、燃料費300、修繕料等1,996
12節 委託費	30,000	除雪委託料25,000、凍結防止剤散布車運転5,000、
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	37	負担金37
その他	40,337	役務費10,350、備品購入費等27,808、機器賃借料2,000、公課費179

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	迅速な除雪により道路交通網を確保する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	除雪路線以外の生活道路も協働作業により除排雪を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	除雪の出動において的確な判断をする。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
降雪・積雪に備えて常に体制を整える。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民生活や経済活動に支障を生じないよう、継続的な予算確保と除排雪業者（オペレータ含む）の確保が重要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市民生活や経済活動に支障をきたさないために重要な事業である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3516
事務事業名	11715 道路維持補修事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費									
	事業	030000 道路維持補修事業									
事業目的						事業概要・効果					
道路法に定める道路管理者として安全に配慮した維持管理を実施する。						建設から整備（作るから長く使う）に転換し、既施設の維持管理は今後益々重要度が上がるため、計画的な維持管理と緊急補修の対応により道路施設の長寿命化を図る。 【ヒア補足】 R4及びR5年度に緊急自然災害防止対策事業債を活用してインター周辺開発エリア周囲の道路補修を実施。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)	修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		139,117	244,235
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	175,000
	その他	11,682	31,071
一般財源		127,435	38,164
人員数(人)	正規職員	2.1	2.1
	会計年度(フル)	0.0	0.7
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,933.1	14,933.1
	会計年度(フル)	0.0	2,306.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	14,933.1	17,239.6
市民一人当たりの経費		2.9	5.0
総額		154,050.1	261,474.6

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,997	委託料1,997
14節 工事請負費	134,991	修繕費134,991
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,129	使用料及び賃借料617、原材料費1,512

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,000	委託料2,000
14節 工事請負費	240,000	修繕費240,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,235	使用料及び賃借料735、原材料費1,500

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	計画的な維持管理により道路施設の長寿命化を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	安全に配慮した維持管理を実施する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	記載事業を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
緊急性等を考慮して対応した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

道路環境の整備を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

道路環境を保全していくため適切な維持管理が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村上・鈴木
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3518
事務事業名	10672 道路改良事業（防災・安全）											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	010000 道路改良事業（防災・安全）										
事業目的						事業概要・効果						
社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路を重点に整備することにより、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						幹線道路は国道や県道及び学校、病院、産業団地等の公益施設並びに地域に形成されているコミュニティ相互を連絡し、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。 【ヒア補足】 ●橋梁・トンネル点検業務委託は年度不均一。 ●日野踏切拡幅工事は長野電鉄に委託して実施。 ●「高梨小山線他舗装修繕工事」はR3に高甫南原線、R4に須坂駅-旭ヶ丘線の施工箇所として予定。 ●村山八町線は交通誘導による安全確保が目的。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
橋梁点検・長寿命化修繕設計業務委託 幸高福島線ほか5路線測量設計業務委託 橋梁長寿命化修繕工事 舗装修繕工事 井上駅跨線橋線ほか3路線道路改良工事	橋梁点検・長寿命化修繕設計業務委託 高梨五閑線ほか1路線測量設計業務委託 橋梁長寿命化修繕工事 舗装修繕工事 井上駅跨線橋線ほか5路線道路改良工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
橋梁点検・長寿命化修繕設計業務委託 高梨五閑線踏切拡幅工事委託 橋梁長寿命化修繕工事 舗装修繕工事 井上駅跨線橋線ほか3路線道路改良工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	m
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		955,000	865,460
特定財源	国庫支出金	737,145	467,915
	都道府県支出金	0	0
	地方債	568,625	343,600
	その他	0	0
一般財源		△350,770	53,945
人員数(人)	正規職員	2.4	3.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,066.4	24,888.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	17,066.4	24,888.5
市民一人当たりの経費		18.6	17.0
総額		972,066.4	890,348.5

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,697	測量・設計委託9,697
14節 工事請負費	870,970	改良・修繕工事費870,970
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	74,333	用地購入費20,959 立木等補償料53,374

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	124,630	測量・設計委託124,630
14節 工事請負費	662,570	改良・修繕工事費662,570
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	78,260	用地購入費20,030 立木等補償料58,230

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	安心・安全で快適な道路・交通環境の改善を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	インター周辺開発に伴う道路整備を推進し、交通安全・渋滞対策を図る 幹線道路を重点に老朽化した舗装を修繕し、道路環境の向上を図る 老朽化した橋梁の修繕し、橋梁の長寿命化を図る	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	国の交付金を活用し事業を推進している	

振り返り（決算年度の取組み課題）

交付金が十分に確保でき、事業の進捗が図れた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
安全・安心で快適な道路整備の推進する。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
安全・安心で快適な道路整備の推進が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塚田武弘
	全体計画						経費区分		-		内線	3531
事務事業名	10660 屋代線跡地活用事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	020000 屋代線跡地活用事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき、長期的なまちづくりの推進や沿線地域の諸課題の解決を図り、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						活力ある地域づくりと交通体系の充実をはじめ、地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たす。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
維持管理	維持管理
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
維持管理	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	m
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		497	500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		497	500
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,919.2	1,922.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	497	除草等業務委託497
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	500	除草等業務委託500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	維持管理を適正に行い必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	維持管理に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	草刈回数や方法など、要望は増加の傾向	

振り返り（決算年度の取組み課題）

草刈り等の維持管理のみを行っているのが現状。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

跡地利用、将来の維持管理縮減を考慮し、対策が必要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

跡地の有効利用を図り、地域住民との協働による維持管理によりコスト縮減を図る。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村上信親 植木浩司
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519・3517
事務事業名	4213 道路改良事業（単独）											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	030000 道路改良事業（単独）										
事業目的						事業概要・効果						
市道の整備のうち市単事業で実施するものは補助事業以外の幹線道路と生活道路等小幅員の道路整備であり地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して計画的に整備を図る。また、補助事業採択に向け測量設計を先行しながら、地元合意を形成して行きたい。						市道は幹線道路をはじめ地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
市道改良工事、歩道設置整備事業、側溝暗渠新設改良	市道改良工事、歩道設置整備事業、側溝暗渠新設改良
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
市道改良工事、歩道設置整備事業、側溝暗渠新設改良	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	箇所
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		122,716	35,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	2,000
	その他	32,311	5,000
一般財源	90,405	28,000	
人員数(人)	正規職員	0.8	1.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,688.8	7,822.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,688.8	7,822.1
市民一人当たりの経費	2.5	0.8	
総額	128,404.8	42,822.1	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	28,222	測量・設計委託28,222
14節 工事請負費	86,471	工事費86,471
18節 負担金補助及び交付金	3,744	農地転用決済金3,744
その他	4,279	用地購入費2,205 立木等補償料2,074

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,000	測量・設計委託11,000
14節 工事請負費	20,000	市道改良工事費10,000、水路改良工事10,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,000	用地購入費2,000 立木等補償料2,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	地元的生活道路の安全を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	地元要望が出ていて、緊急性の高い箇所を行う	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	要望が出ている箇所ので、必要最小限の範囲で事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）
地元要望が出ており、緊急対応が必要な箇所の事業を行った

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源確保し、生活道路を中心に、緊急性等考慮し地域の要望に対応していく。		地域要望のある生活道路を中心に、必要性・緊急性を考慮し対応していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	村上信親
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	16112 道路改良事業（地域住宅支援）						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	事業	050000 道路改良事業（地域住宅支援）					
事業目的				事業概要・効果			
社会資本整備総合交付金の地域住宅支援事業を活用し、狭あい道路を地域の要望等により緊急性や必要性などを考慮して、地元合意により計画的に整備を図る。				狭あい道路の改良は、緊急車両の進入が可能となり、また、地域住民の日常生活や地域振興に大きく貢献する役割を果たす。 【ヒア補足】 福沢坪加線は最終処分場の東側に位置する道路。県の工事用車両道路を将来的に買い取りしないことを目的とした将来負担を少なくするための先行投資的な意味合いも持つ。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
	小島中村 1 号線測量設計業務委託
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
小島中村 1 号線測量設計業務委託 五輪早津田線測量設計業務委託 福沢坪加線測量設計業務委託	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		6,171	27,030
特定財源	国庫支出金	2,840	13,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	2,500	12,100
	その他	0	0
一般財源		831	1,430
人員数(人)	正規職員	0.0	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	3,555.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	3,555.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.6
総額		6,171.0	30,585.5

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,171	測量・設計委託6,171
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	27,030	測量・設計委託27,030
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	地元の生活道路の安全を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	地元要望が出ていて、緊急性の高い箇所を行う	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	要望が出ている箇所ので、必要最小限の範囲で事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）
地元要望が出ており、緊急対応が必要な箇所の事業を行った

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

財源確保を行い、狹隘道路解消に向け、整備を行う。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

狹隘道路の解消に向け計画的に整備を行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	村石・植木
	全体計画			経費区分	-	内線	3516・3517
事務事業名	4217 河川管理事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080301 土木費・河川費・河川総務費					
	事業	020000 河川管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
災害・水害に強いまちづくり				河川管理施設の維持管理に努めると共に河川改修事業の促進に向け組織する関係市町村と共に国県へ要望し、災害・水害に強いまちにする。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
水路浚渫工事の実施。山崎川河畔林整備工事	旧百々川浚渫工事、古川浚渫工事 千曲川堤防嵩上・舗装工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
千曲川堤防嵩上・舗装工事 水路浚渫工事の実施	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		17,030	4,052
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	13,300	0
	その他	0	0
一般財源		3,730	4,052
人員数(人)	正規職員	0.4	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,844.4	5,688.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,844.4	5,688.8
市民一人当たりの経費		0.4	0.2
総額		19,874.4	9,740.8

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	33	消耗品8、燃料費20、光熱水費5
12節 委託費	1,255	測量設計委託料495、その他委託料760
14節 工事請負費	14,685	工事請負費14,685
18節 負担金補助及び交付金	1,057	負担金637、補助金420
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	39	消耗品費8、燃料費21、光熱水費10
12節 委託費	760	その他委託料760
14節 工事請負費	2,000	工事請負費2,000
18節 負担金補助及び交付金	1,157	負担金737、補助金420
その他	96	通信運搬費73、公課費23

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	河川の維持管理上必要な事業である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	河川の管理上での問題を解消し、成果は上がっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	場所により内容が異なるため、コスト削減は難しい	

振り返り（決算年度の取組み課題）

区からの要望が年々増加し、緊急性の高いところから適正に修繕を進めている

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適正な維持管理を継続して行う。		災害を未然に防ぐためにも河川の適切な維持管理が重要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村上信親
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3518
事務事業名	8575 街路整備事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	05022200 道路整備や治水対策の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080402 土木費・都市計画費・街路事業費									
	事業	010000 街路整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
都市計画道路3・5・6号八町線の北原工区について事業実施をする。						八町線の整備により都市防災機能の充足と、市街地における交通混雑の緩和及び交通網の強化や通学路の安全性向上が図られる。 【ヒア補足】 ●臥竜線は本設計ではなく、予備設計（交通状況も含めたシュミレーション）として実施するもの。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
八町線 工事	八町線（北原工区）変更事業認可
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
八町線（北原工区）測量設計業務	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	件
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		503	12,318
特定財源	国庫支出金	0	5,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	4,000
	その他	0	0
一般財源		503	2,818
人員数(人)	正規職員	0.6	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,266.6	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,266.6	2,844.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.3
総額		4,769.6	15,162.4

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	495	変更事業認可作成業務委託495
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8	全国街路事業促進協議会負担金8
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	12,310	測量・設計委託12,310
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8	全国街路事業促進協議会負担金8
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	都市部の交通混雑解消、交通網の充実、防災機能を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	事業区間の整備が図られ、交通網の機能が向上している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	国の節交付金を活用して事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）
変更事業認可を申請し、道路整備事業の着手を図った

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		幹線道路網としての整備を推進する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	植木浩司
全体計画						経費区分		-		内線	3517
事務事業名	4218 都市下水道維持管理事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費									
	事業	060000 都市下水道維持管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
施設の老朽化に伴い、維持管理業務が必要となっている。						都市下水道の適正な維持管理を実施することにより、快適に暮らせる市民生活を提供する。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中央都市下水道浚渫工事	中央都市下水道浚渫工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
中央都市下水道浚渫工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		992	1,002
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		992	1,002
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	711.1
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,703.1	1,713.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	990	中央都市下水路浚渫工事990
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2	保険料2

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	1,000	中央都市下水路浚渫工事 南部都市下水路浚渫1,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2	保険料2

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市街地内の大雨、ゲリラ豪雨による排水路の氾濫の改善が図られる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	都市部防災の重要な機能の一つとして、必要な箇所を対応し改善されている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	現地を調査した上で、効率よくまた経済的な整備に努める	

振り返り（決算年度の取組み課題）

都市部の浸水対策として、現場をよく精査した上で、緊急性の高いところから適正に改修を進めている

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

適切な維持管理が必要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

都市防災のために適正な維持管理が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	浅野 善史
	全体計画			経費区分	-	内線	3523
事務事業名	4241 市営住宅管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費					
	事業	020000 市営住宅管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の維持管理 				<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安全と社会福祉の増進を図るため、市営住宅の維持管理を行う。 【ヒア補足】 ●市住管理業務委託料内で末広団地の通路舗装工事を予定。駐車場通路。汚水排水管の破損で舗装が落ちてきている。 ●火災報知器の交換はR5で一旦完了。10年周期。 ●旭ヶ丘団地通路舗装について緊急的に実施したいのは1箇所。それ以外は付随的に行うもの。 ●屋部団地解体は入居者死亡による。土地は県返却。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し33戸、募集戸数23戸、申込者数24人 ・修繕件数157件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し21戸、募集戸数26戸、申込者数41人 ・修繕件数212件
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		53,801	46,501
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	37,306	46,501
一般財源	16,495	0	
人員数(人)	正規職員	0.5	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,555.5	2,844.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,555.5	2,844.4
市民一人当たりの経費	1.1	0.9	
総額	57,356.5	49,345.4	

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	357	光熱水費(電気料)301、(水道料)53、印刷製本費3
12節 委託費	50,872	電算委託料288、測量設計委託料478、施設管理委託料49,302、保守点検委託料148、指定管理者委託料656
14節 工事請負費	1,653	水道管撤去工事330、旭ヶ丘団地通路舗装工事1,323
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	919	報酬261、役務費140、使用料及び賃借料518

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	550	印刷製本費3、光熱水費（電気料）464、（水道料）83
12節 委託費	40,967	電算委託料288、施設管理委託料39,635、保守点検委託料148、その他委託料240、指定管理者委託料656
14節 工事請負費	4,000	屋部団地解体工事3,000、市営住宅環境改善工事1,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	984	報酬269、旅費5、役務費190、使用料及び賃借料520

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	住宅に困窮している者に対して、低廉な家賃で住宅を提供している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市営住宅を適切に維持管理できるよう、住宅供給公社と協議のうえ対処している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	有効期限を迎える住宅用火災報知器の交換等、定期的に必要となる経費の平準化を図っていく必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市営住宅入居者からの修繕等の要望に対し、住宅供給公社と連携を取り迅速に対応した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>前年度と比べ修繕件数が増大している。入居者の要望に対し住宅供給公社の迅速な対応によるものだが、今後の委託料への影響も考えられるため、日常から公社とのコミュニケーションを図っていく必要がある。</p>		<p>住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供し社会福祉の増進を図るため、市営住宅の維持管理が必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	浅野 善史
	全体計画	令和 3年度	～	令和 7年度	経費区分	実施計画事業費	内線 3523
事務事業名	4243 住宅・建築物耐震改修事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費					
	事業	030000 住宅・建築物耐震改修事業					
事業目的				事業概要・効果			
地震災害に対して市民の生命、財産を守るため、耐震診断と補強を促進し向上を図る。				地震に強いまちづくりを目指し、長野県「住宅・建築物耐震改修促進事業」を受け、「須坂市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年5月31日以前に建築工事に着手した一戸建の在来工法の木造住宅の所有者に耐震診断、耐震補強工事補助を行う。 【ヒア補足】 ●R3現時点での実績→耐震診断…5件、耐震補強工事…0件、ブロック塀改修6件。 ●R4に予定している北横町公会堂の耐震補強工事は本年度（R4.1月頃）に設計完了の見通し。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
①耐震診断 住宅2戸 ②耐震改修工事補助 住宅2戸 ③ブロック塀改修補助 6件	①耐震診断 住宅4戸 ②耐震改修工事補助 避難施設（地区公会堂）1棟 ③ブロック塀改修補助 10件
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
①耐震診断 住宅8戸 ②耐震改修工事補助 住宅4戸 避難施設（地区公会堂）1棟 ③ブロック塀改修補助 10件	①耐震診断 住宅8戸 避難施設（地区公会堂）1棟 ②耐震改修工事補助 住宅4戸 避難施設（地区公会堂）1棟 ③ブロック塀改修補助 10件
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
①耐震診断 住宅8戸 ②耐震改修工事補助 住宅4戸 ③ブロック塀改修補助 10件	①耐震診断 住宅8戸 ②耐震改修工事補助 住宅4戸 ③ブロック塀改修補助 10件

指標名	住宅の耐震改修工事への補助件数						
算式						単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	56	57	58	59	60	
	実績	55					
指標選定の理由	実績により設定						
最終年度目標の根拠	実施計画による						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		11,265	10,481
特定財源	国庫支出金	1,363	5,235
	都道府県支出金	2,065	2,367
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,837	2,879
人員数(人)	正規職員	0.7	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,977.7	3,555.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,977.7	3,555.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,242.7	14,036.5

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	260	耐震診断委託料260
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,954	耐震改修工事補助金10,060 ブロック塀改修補助金894
その他	51	郵便料51

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	520	耐震診断委託料520
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,950	耐震改修工事補助金8,950 ブロック塀改修補助金1,000
その他	11	普通旅費5、郵便料6

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の要望に合わせて耐震診断士の派遣、耐震改修工事等の補助金交付を実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	住宅所有者の資金計画や将来計画等から住宅の耐震改修が思うように進まない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国、県の補助要綱に沿って実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

耐震改修工事以外に住宅の改修費用が必要になることが多く、費用の増加や将来計画等から住宅の耐震化が思うように進まない。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

地震災害から生命と財産を守るためにも、補助制度は有効である。ブロック塀改修の申請は多いが、住宅改修は所有者の高齢化や自己負担額が多くなるなどから件数が増えない課題がある。

2次評価コメント

地震災害から市民の生命、財産を守るため、住宅等の耐震診断と補強の促進が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	浅野 善史
全体計画				経費区分	実施計画事業費		内線	3523			
事務事業名	13618 空家対策事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費									
	事業	040000 空家対策事業									
事業目的						事業概要・効果					
空家等に関する対策実施のための協議会の開催。						空家等対策の推進に関する特別措置法の規定により、空家等に関する対策の実施のための協議会を開催する。空家等対策計画に沿った空家対策を実施する。 【ヒア補足】 ●空家等改修事業補助金は空き家バンクの利用促進や不足の解消が主目的。 ●解体補助は市長から検討の指示あったが、特定空き屋の解体は市からの通知により応じるケースが多く見送り。改修は空き家バンクの登録が条件。 ●19市比較は別紙。今後理事者と最終調整。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
1回の会議を開催 空家対策計画に基づく空家対策の実施 ①特定空家等の認定8件 ②行政（略式）代執行の実施1件 ③相続財産管理人選任の申立て1件	1回の会議を開催 空家対策計画に基づく空家対策の実施 ①特定空家等の認定2件 ②行政（略式）代執行の実施1件
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施 空家等改修補助 10件	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施 空家等改修補助 10件
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施 空家等改修補助 10件	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施 空家等改修補助 10件

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		574	7,078
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		574	7,078
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,266.6	4,266.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,266.6	4,266.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		4,840.6	11,344.6

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	164	空家応急修繕工事164
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	410	空家等対策協議会委員報酬10、手数料400

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	1,000	空家応急修繕工事1,000
18節 負担金補助及び交付金	5,000	空家等対策補助金5,000
その他	1,078	空家等対策協議会委員報酬65、普通旅費4、郵便料3、手数料1,006

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	所有者や管理者がいない建物を有効活用するために、空き家対策を進める必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	空き家等の状況に応じて特定空家等に認定をし、法に基づく措置を実施することで課題の解決につながっていく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	行政（略式）代執行の実施等に費用が必要となる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
特定空家等の認定や行政（略式）代執行の実施等、危険な空き家に対する措置が進んでいる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
危険な空家は、特定空家の認定・行政代執行により成果が見えてきた。今後は活用可能な空家を空家バンクへの登録に繋げるため、創設した助成制度の活用を促進する。		安心して快適良好な住環境を推進するため、危険空家をはじめとする対策が重要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	植木浩司
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 経常的経費 <input type="checkbox"/> 内線	3517
事務事業名	4223 住宅防災対策事業	
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課	
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費
	事業	050000 住宅防災対策事業
事業目的	北相之島団地を降雨から、排水ポンプの運転及び水門操作により防ぎ、安全・安心して生活できる環境を保つ。	
事業概要・効果	北相之島団地を降雨時の浸水から、排水ポンプの運転及び水門操作により防ぎ、安全・安心して生活できる環境を保つ。 北相之島町区民と密に連絡をとりながら、災害は最小限になるよう、日々機器の保守点検及び現場の確認をしながら対応する。	

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
北相之島団地水防壁に係る排水施設の維持管理のため、5月～11月の間定期点検を行う。	北相之島団地水防壁に係る排水施設の維持管理のため、5月～11月の間定期点検を行う。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
北相之島団地水防壁に係る排水施設の維持管理のため、5月～11月の間定期点検を行う。	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		5,955	768
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,955	768
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	1,422.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	1,422.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		6,666.1	2,190.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	422	消耗品費10、燃料費14、光熱水費398
12節 委託費	253	施設管理委託業務費253
14節 工事請負費	5,280	北相之島排水機場更新5,280
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	508	消耗品費10、燃料費14、光熱水費475、修繕料9
12節 委託費	260	施設管理委託業務費260
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	降水時の浸水から北相之島団地を守るため、適正に維持管理することで安全安心して生活できる	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	北相之島団地を水害等の災害から守るため、適切な事業となっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	北相之島区民と連携を図りながら、防災に努める	

振り返り（決算年度の取組み課題）

排水機場の維持管理が予定通り、順調に進んでいる

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
防災面で適正な維持管理が必要である。		浸水防止のため適正な維持管理が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	浅野 善史
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3523
事務事業名	17036 宅地耐震化推進事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費									
	事業	060000 宅地耐震化推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
大地震時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、造成宅地の変動予測調査及び対策工事を推進する。						大地震時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
大規模盛土造成地第2次スクリーニング計画の策定	地質調査が必要と判定された大規模盛土造成地の所有者に対して、説明会を実施する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
大規模盛土造成地第2次スクリーニングの実施（1ヶ所）	大規模盛土造成地第2次スクリーニングの実施（2ヶ所）
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
大規模盛土造成地第2次スクリーニングの実施（1ヶ所）	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		14,641	6
特定財源	国庫支出金	7,320	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,321	6
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,422.2	2,133.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,422.2	2,133.3
市民一人当たりの経費		0.3	0.0
総額		16,063.2	2,139.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	14,641	地質調査業務委託料14,641
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6	旅費5、郵便料1

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	大地震時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、大規模盛土造成地の変動予測調査及び対策工事を実施する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	大規模盛土造成地の変動予測調査及び対策工事を推進することで、地震等の災害発生時に宅地被害の軽減につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国の補助要綱に沿って実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

第2次スクリーニング計画に基づき、大規模盛土造成地の変動予測調査を実施していく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

国の補正予算を活用することが可能となったため、昨年度の調査結果から優先度の高い大規模盛土造成地（1箇所）から現地調査を進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

地震時等に危険性のある大規模盛土造成地の調査及び対策工事を推進する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	浅野 善史
	全体計画	令和 3年度	～	令和 7年度	経費区分	実施計画事業費	内線 3523
事務事業名	11720 市営住宅長寿命化事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	05022300 安心して快適な住環境の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080502 土木費・住宅費・住宅建設費					
	事業	010000 市営住宅長寿命化事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の長寿命化を図る ・快適な住環境の整備 				<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画により耐震補強及びリフォームによる住戸改善工事により、居住環境の整備を図る。 ・老朽化している機械設備や電力不足の電気設備等の改善により、快適で衛生的な居住環境を図る。 ・経年劣化等により改善が必要な団地の屋根の葺き替えや塗装、外壁の塗装により長寿命化を図る。 <p>【ヒア補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画は国要綱に沿った形で改定を行うもの。市内各所の市住について総合的に方針を検討。 ●市民会議では明德も具体的日程で動くよう市長指示あり。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
リフォーム住宅等購入費	リフォーム住宅等購入費
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
リフォーム住宅等購入費	リフォーム住宅等購入費 公営住宅等長寿命化計画の更新
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
望岳台団地改修（リフォーム）工事 明德団地改修（リフォーム）工事 穀町ハイツエレベーター耐震改修工事	望岳台団地改修（リフォーム）工事 明德団地改修（リフォーム）工事

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		29,735	15,594
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		29,735	15,594
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	711.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	711.1	711.1
市民一人当たりの経費		0.6	0.3
総額		30,446.1	16,305.1

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	29,735	公有財産購入費29,735

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,594	公有財産購入費15,594

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市営住宅を改修する際に国の補助を受けるためには、公営住宅等長寿命化計画が必要になる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市営住宅の維持管理を効率的に進めていくために、公営住宅等長寿命化計画を更新する必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市営住宅の維持管理を効率的に進めていくために、公営住宅等長寿命化計画を更新する必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公営住宅等長寿命化計画を更新する必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
市営住宅望岳台団地・明德団地は高齢化社会に対応したバリアフリー化、子育て世帯の定住促進化に向け、長寿命化計画の見直しを進める必要がある。		長寿命化計画に沿って市営住宅の快適な住環境の整備が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山下智史
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3248
事務事業名	4122 公共交通対策事業						
所 属	120500 市民環境部・市民課						
施 策	05022400 公共交通の確保						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費					
	事業	020000 公共交通対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
交通手段を持たない者のため公共交通を確保する ①須坂市地域公共交通会議が運営する「すざか市民バス」・「すざか乗合タクシー」の運行等を支援。 ②屋代線代替バス運行等事業を支援。 ③長野電鉄が実施する施設整備事業を支援。				・新型コロナウイルス感染症拡大による経済的な影響を継続して受けている交通事業者等に対し、事業継続を支援するため			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 76,743人 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 バスICカードくるるを乗合タクシーへ導入 免許証自主返納者へバスICカードを1枚贈呈 (R2~)	すざか市民バス、乗合タクシーの運行 75,369人 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 免許証自主返納者へバスICカードを1枚贈呈 Googleへのすざか市民バス情報の掲載等
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 免許証自主返納者へバスICカードを1枚贈呈 Googleへのすざか市民バス情報の掲載等	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	「公共交通の確保」の満足度（％）					
算式	市民総合意識調査による				単位	％
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標				25	
	実績					
指標選定の理由	満足度が高いことにより、住民に必要な公共交通が提供できていると判断できるため					
最終年度目標の根拠	須坂市地域公共交通会議での公共交通計画の策定等を通じて、利便性の向上を図ることにより、2019年度実績から5年間で35%増を目標値に設定					
指標名	「電車、バス、乗合タクシーを利用している」人の割合（％）					
算式	市民総合意識調査による				単位	％
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標				20	
	実績					
指標選定の理由	公共交通を利用する者が増加することが、持続可能な公共交通の確保につながるため					
最終年度目標の根拠	利便性の向上を図り、また広報やSNS等を利用し公共交通が必要な人たちのために、住民全体で支えなければ持続が困難であることを周知することにより、2019年度実績から約20%増を目標値に設定					
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		89,400	107,820
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	16,355	7,000
一般財源		73,045	100,820
人員数(人)	正規職員	1.5	1.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.3
人員コスト	正規職員	10,666.5	9,955.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	462.3	462.3
	計	11,128.8	10,417.7
市民一人当たりの経費		1.9	2.3
総額		100,528.8	118,237.7

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	365	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼197、その他168
10節 需用費	22	事務用品等22
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	87,814	須坂市地域公共交通会議への負担金63,114 屋代線代替バス6,671、長野電鉄への補助金ほか補助金等18,029
その他	1,199	公共交通事務職員報酬783、その他416

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	781	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼381、運転免許自主返納促進事業400
10節 需用費	26	会議用お茶等26
12節 委託費	9,000	公共交通計画策定委託料9,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	96,620	須坂市地域公共交通会議への負担金72,810 屋代線代替バス11,100、長野電鉄への補助金ほか補助金等12,710
その他	1,393	公共交通事務職員報酬783、その他610

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市内の公共交通を担う市民バス、乗合タクシー、長野電鉄を持続的に維持し、市民生活の利便性を確保するため必要不可欠な事業である。国・県の補助制度を活用しながら、各公共交通機関の運行を支援した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	コロナ禍により公共交通の利用者が減少中、公共交通の維持に必要な負担・支援を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市内の公共交通の適正な事業内容について、須坂市地域公共交通会議において継続して検討・実施を行ってきた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍において公共交通が直面する影響は大きいですが、持続的に須坂市の公共交通を維持確保するために、須坂市地域公共交通会議で検討をし、他の公共交通機関への必要な支援を実施することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>公共交通は通学・通院・買い物など市民の日常生活に必要不可欠であり、今後も維持する必要がある。今後は、高齢運転者の増加や脱炭素社会を見据え、より効果のある事業を展開していく必要がある。</p>		<p>将来にわたっての公共交通の維持のため、新たな公共交通計画により、今後の高齢者等交通弱者や脱炭素社会などの課題解決に向け、さらに事業を展開していく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	